

## 千葉県官公需適格組合受注促進協議会

監事 金子哲司



### 【協議会の沿革】

官公需適格組合とは、官公需の受注に意欲的で、かつ受注した契約は、十分に責任を持って履行できる経営基盤が整備されている組合であるということを中心小企業庁（関東経済産業局）から証明された組合のこと。

千葉県官公需適格組合受注促進協議会（会長 鹿野新一郎 浦安建設（協）理事長）は県内の官公需適格組合の受注体制を整備し、受注能力の向上を図り、官公需に関する諸問題を解決するため昭和59年に17組合で発足し、発注情報の収集提供や、官公庁に対する適格組合制度のPRを始め発注増大等の要望を行なってきた。

### 【協シー・ソフトウェアの概要と金子氏の横顔】

（協）シー・ソフトウェアは平成3年に県内で初めてソフトウェアハウス22社が会員の企業体質の強化と優秀な人材確保等を目的に設

立された。以来個々の企業では対応できない大型システムの案件や人材養成、福利厚生事業等を中心に事業展開してきた。

この間ウインドウズ95やネットワークのインターネットブラウザが登場して、ITをめぐる環境は大きく変化したが、平成11年には官公需適格組合の証明を取得して、総合力を要求される大規模な案件にも精力的に取り組み、その成果を上げている。

金子哲司氏は（株）ジー・シー企画代表取締役で、中央会の理事。千葉県官公需適格組合受注促進協議会の監事。（協）シー・ソフトウェアの理事長等多くの要職を歴任している。金子氏は大学の機械工学科を卒



（協）ジー・シーが入っているちばぎん臼井ビル

### ■ 千葉県官公需適格組合受注促進協議会

所在地	千葉市中央区千葉港4-2 千葉県中小企業団体中央会内
代表者	鹿野 新一郎
会員数	34組合

### ■（協）シー・ソフトウェア

所在地	千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト15F
代表者	金子 哲司
会員数	42名（出資金420万円）

業後、自動車部品メーカーに勤務。もともと宮使用になじめなかつたこともあり、担当していたプロジェクトが一段落したのを機に、当時のセイコーシステム（株）が人を探していたので、いきなり独立すると失敗するし、営業のことは解らなかつたが、営業の大切さは認識していたので、自分の技術を提供しながら5年間は営業の勉強をさせてもらうというパートナー契約で工場ラインのシステム営業を経、自分が開発したプログラムのリセール契約を基に平成7年に独立した。はじめは佐倉の自宅のそばに家を借り、社長1人体制でシステムコンサルティングと開発を目的に有限会社を立ち上げた。当初は資金繰りにも苦労したが平成9年に株主会社に、平成10年には全国旅館連盟のカード決済システムを委託するなど順調に業績を伸ばしてきた。現在は資本金1億5886万円、いずれは上場をと考えて

おり、このたび京成臼井駅前のちばぎん臼井ビルに本社を移転した。金子さんの趣味をお伺いしたところ、元気な頃は（金子さんは2年前に激務のためか脳内出血で倒れた）野球や剣道をやっていたが、今はリハビリが趣味とおっしゃる。倒れたときには手足の自由も利かず、言葉も失い新聞も読めない状態だった。この闘病生活の間、役員や社員全員が頑張ってくれて、それまでの自信過剰なワンマン体質が直り、主役が自分ではないと悟り、会社の人間が成長していくことの楽しみを知る境地になったそう。

最後にご自身のモットーをお聞きしたところ、あえて言えば「レット・イット・ビー、なるがまま」ということかな」ということでした。金子さんは昭和26年4月、福島県生まれ、現在は奥さんとお二人で佐倉市に在住。



官公需問題懇談会（平成8年2月）左より当時の協議会、瀬谷副会長、鹿野副会長、加藤会長



（協）シー・ソフトウェアの総会